

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県鎌ケ谷市
 本事業の担当部局名 健康福祉部子ども支援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	鎌ケ谷市乳児ふれあい事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和1年度	
総事業費(A)(円)	285,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	285,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	285,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	170,000	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	170,000	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	115,000	0	0	0	0	285,000	
	対象経費支出予定額	115,000	0	0	0	0	285,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画における少子化対策として、未来を担う子どもとその家庭の支援及び子どもを産み育てやすい環境を構築するため、子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組むこととしている。一方、地域の実情として、婚姻数、婚姻率、出生数及び合計特殊出生率全てにおいて減少傾向にある。そのため、本市では、様々な子育て支援事業を展開し、より子育てしやすい環境を提供することで、引き続き少子化対策に取り組んでいく。</p> <p><本個別事業の位置付け> <本個別事業の位置付け> 本事業は若い世代の結婚、妊娠、出産への希望を叶える取り組みとして、若い世代に対し、乳児及び母親と触れ合う機会を設けることで、子育てに対する具体的なイメージを持ち、早い時期から自分の希望に沿ったライフプランを考える機会を提供するものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	①市内の中学生及び高校生を対象とした乳児ふれあい体験事業	市内中学校や教育委員会と連携し、子どもたちの発達段階に応じた、命の大切さや心身の変化について学習し、将来の結婚・子育てについての理解を深める教育を行う。併せて、市内1中学校において乳児とのふれあい体験を実施し、男女とも子育てへの理解を深める。 また、市内の県立高校2校において、乳児とのふれあい体験を通じて、参加親子から子育ての話などを聞くことで、将来働きながらの子育てなど、より将来に対する具体的なイメージを持てるきっかけづくりとなるよう教育を行うとともに、子育てへの理解を深める。 事業実施後には、報告書等を作成し、ホームページ等で公開することで、今年度乳児ふれあい事業の対象校ではなかった中高生にも情報提供を行う。					
	2	②乳幼児健診等における事業周知・参加協力親子の募集	乳幼児健診や地域子育て支援拠点事業等の、乳幼児親子の集まる他事業において、周知用物品の配布等により本事業の周知と協力親子の募集を行う。 地域少子化対策重点推進交付金関係の他事業との連携や、ソーシャルメディアなどを活用し、参加協力親子の応募者数の増加に繋げていく。					
	3							
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 本事業においては、事業参加協力親子数が例年目標値に届いていないことから、市内児童センターと協力を図り、地域子育て支援拠点事業に参加している保護者向けに事業周知を行うことで、参加者を増やす。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	増加(令和8年度)	1.06(令和5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.06(令和5年度)	
	婚姻件数		件	399(令和5年)	
	婚姻率			3.7(令和5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	乳児ふれあい事業参加生徒数(中学校・高校分計)	人	550	394(R5実施時)
	②	募集定員に対する参加者数の割合(参加対象生徒の出席率)	%	100	90(R5実績値)
	③	ふれあい事業参加協力親子数	組	23.5	17(R5実施時)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100	-
	④	中学校・高校におけるライフデザイン教育を通じて「人生設計(ライフプラン)について考える機会を持たせたと感じる者の割合	%	100	93(R6見込み)
	⑤	中学校・高校における乳児ふれあい体験事業を通じて、「あかちゃんのいる生活について考える機会を持たせたと感じる者の割合	%	100	98(R6見込み)
	⑥				
	⑦				
	⑧				